

村岡新駅周辺地区まちづくりニュース

村岡新駅の設置と 村岡新駅周辺地区での都市拠点づくりが決まりました

1986年（昭和61年）に市議会において、湘南貨物駅跡地利用及び駅設置に関する請願が採択されてから35年を経て、東海道本線の新駅の設置と、新駅周辺での都市拠点形成をすることが決まりました。

2018年（平成30年）に神奈川県、鎌倉市、藤沢市（以下「3県市」と言う）で締結した「藤沢市村岡地区・鎌倉市深沢地区のまちづくりと村岡新駅（仮称）設置に関する合意書」に基づき事業実施を判断しました。新駅を核とした新しいまちづくりにご期待ください。

村岡新駅設置について

3県市と東日本旅客鉄道（株）の4者で「東海道本線大船・藤沢間村岡新駅（仮称）設置に関する覚書」を2021年（令和3年）2月8日に締結しました。この覚書では、JR東海道本線・村岡新駅を設置することや、事業に要する費用の負担割合（神奈川県30.0% 藤沢市27.5% 鎌倉市27.5% 東日本旅客鉄道（株）15.0%）を定めています。

2032年（令和14年）頃

新駅開業の見込みです

令和元年度・2年度で実施した概略設計の結果で、整備費用が約150億円、工事期間が約8年と明らかになり、順調に進めば、2032年（令和14年）頃の開業が見込まれます。



※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

■村岡新駅の完成イメージ図（南東側から北西方向を望む。）

まちづくり（土地区画整理事業）について

一体施行の土地区画整理事業により藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区のまちづくりを進めるために、3県市と独立行政法人都市再生機構の4者で、まちづくりに関する役割分担等を定めた「村岡・深沢地区のまちづくりに関する基本協定」を締結しました。

併せて、鎌倉市、藤沢市と独立行政法人都市再生機構の3者で、土地区画整理事業の施行に関して、基本的な方針及び役割分担等を定めた「村岡・深沢土地区画整理事業の施行に関する基本協定」を締結しました。所要の手続きを経て、独立行政法人都市再生機構が土地区画整理事業を施行することになります。

※土地区画整理事業は、地区内の道路・公園等の公共施設を整備し、宅地の利用増進を図る事業です。

村岡新駅周辺地区まちづくり方針を策定しました！

村岡新駅を核としたまちづくりを進めるにあたり、将来地区像や方向性などの「まちのあり方」を示す指針として、「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」を2021年（令和3年）3月に策定しました。

これまで、まちづくりニュース第7号～第9号でもお知らせしていましたが、市民や地権者代表、学識経験者、地元経済団体等をメンバーとした「村岡新駅周辺地区まちづくり検討会議」を立ち上げ、ご意見を伺いながら素案をとりまとめ、その後、パブリックコメント等でご意見を頂戴しました。ご協力ありがとうございました。

※市ホームページの「村岡地区整備担当」のページで、「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」を閲覧いただけます。

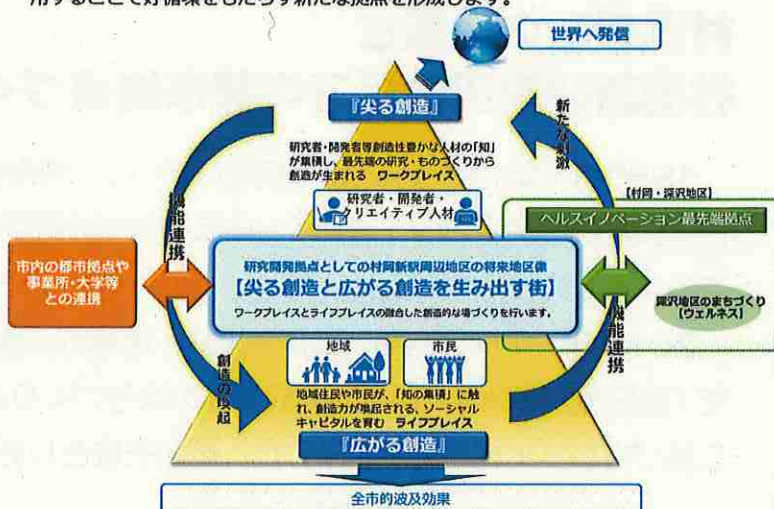
令和3年度の取組

村岡新駅設置及び周辺まちづくりの実施が確定しましたので、令和3年度は事業を進めるために、道路や公園、土地区画整理事業等の都市計画決定の手続きを行う予定です。

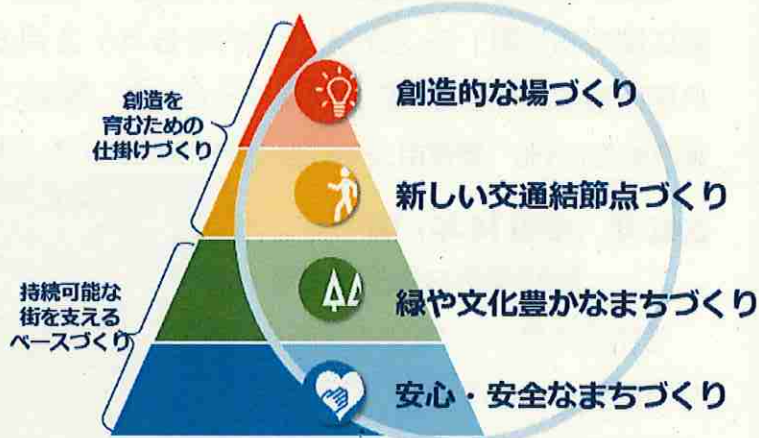
そのほかに、東日本旅客鉄道（株）等との新駅設置に関する基本協定の締結に向けた調整や、「村岡新駅周辺地区まちづくり方針」の具体化に向けた検討等を行う予定です。

村岡新駅周辺地区が目指す将来地区像

知的人材の集積を活かし、世界に誇る『尖る創造（最先端技術や専門家が生き育む創造性）』と、地域や市民と共に創り出す『広がる創造（暮らしや感性をより豊かにする創造性）』が相互に作用することで好循環をもたらす新たな拠点を形成します。



4つの重要テーマ



■ 村岡新駅及び村岡新駅周辺地区位置図

* 「まちづくりニュース」に関するお問い合わせはこちらまで

藤沢市 都市整備部 都市整備課 村岡地区整備担当

電話：0466-25-1111(代表) 4321(内線)

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosei/index.html>

